

第219回

柏崎しんきん地区内経済指標

(平成26年6月)

 柏崎しんきん

(平成8年4月 創刊)

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,495	-1.26	-0.10	4,124	0.14	-0.07
東部地区	14,205	-0.40	0.16	5,739	0.56	0.13
西部地区	10,391	-0.16	0.03	4,026	1.02	0.17
駅南地区	6,346	0.31	-0.20	2,804	1.74	-0.14
半田地区	3,695	0.02	-0.18	1,401	-0.07	-0.07
横山地区	5,552	-0.87	-0.30	1,957	0.98	-0.05
茨目・田尻地区	7,032	0.22	0.12	2,496	1.67	0.28
荒浜地区	4,990	-0.99	-0.21	2,014	-0.04	-0.09
その他地区	19,284	-1.90	-0.14	7,114	-0.57	-0.14
西山町地区	5,942	-2.26	0.00	2,129	-0.56	0.00
高柳町地区	1,656	-4.11	-0.42	786	-1.75	-0.25
柏崎市計	88,588	-0.94	-0.06	34,590	0.34	0.00
刈羽村	4,808	-0.51	0.10	1,577	0.00	0.06
小国地区（長岡市）	5,837	-2.47	0.01	2,110	-1.03	0.00
出雲崎町	4,801	-2.29	-0.20	1,767	-1.11	-0.05
合計	104,034	-1.07	-0.05	40,044	0.19	0.00

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は前年同月比では、すべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で842人、0.94％、刈羽村で25人、0.51％、小国地区（長岡市）で、148人、2.47％および出雲崎町で113人、2.29％と減少したことから、全体では1,128人、1.07％の減少となる。また、前月比では、柏崎市で57人、0.06％、および出雲崎町で10人、0.20％と減少したものの、刈羽村で5人、0.10％、小国地区で1人、0.01％増加したことから、全体では61人、0.05％の減少となる。

世帯数の前年同月比では、柏崎市で118世帯、0.34％増加しているが、小国地区で22世帯、1.03％および出雲崎町で20世帯、1.11％が減少したことから、全体では76世帯、0.19％の増加となった。また、前月比では、刈羽村で1世帯、0.06％と増加しているが、柏崎市で1世帯、0.00％および出雲崎町で1世帯、0.05％の減少により、全体では1世帯、0.00％となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,729		23.06		1.46	
月間有効求職者	1,814		-8.38		-2.63	
月間有効求人倍率	0.95	1.16	0.24*	0.22*	0.04*	-0.04*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,729人と前年同月比で324人、23.06％増加している。また、前月比においても25人、1.46％増加している。

月間有効求職者数は、1,814人と前年同月比で166人、8.38％減少となっており、前月比でも49人、2.63％減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.95倍と前年同月比で0.24ポイント上回っており、前月比でも0.04ポイント上回った。なお、県平均1.16倍と比べると0.21ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が744人と前年同月比で156人、26.53ポイント増加、月間新規求職者数が450人と前年同月比で19人、4.40ポイント増加した結果、月間新規求人倍率は1.65倍となり、前年同月の1.36倍に比べて0.29ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成25年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	38	3	10	90	-33
共 同 住 宅	4	3	4	4	-2
事 務 所	0	0	-1	1	-1
作 業 所・工 場	2	2	2	3	2
営 業 建 物	5	1	3	8	1
公 共 建 物	1	-1	1	1	-1
そ の 他	7	-2	-11	38	2
合 計	57	6	8	145	-32

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が57件と前年同月比では6件の増加となる。工種別内訳の増減をみると、前年同月比で一般住宅(併用)で3件、共同住宅で3件、作業所・工場で2件、営業建物で1件増加しているが、公共建物で1件、その他で2件減少している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が44件となっており、また一般住宅(併用)38件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況では、市内施工業者が18件(うち新築14件)、市外施工業者が20件(うち新築17件)となっている。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,917	0.68	0.15	14,500	-0.80	-19.91
電 力	9,810	-2.50	-0.10	38,410	3.17	9.64

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比では450口、0.68%の増加。前月比でも101口、0.15%の増加となっている。一方、電力においては、前年同月比では252口、2.50%と減少。前月比でも10口、0.10%の減少となっている。

使用量においては、電灯が前年同月比では118kwh、0.80%の減少。前月比でも、3,606kwh、19.91%と減少している。電力においては、前年同月比で1,181kwh、3.17%の増加。前月比においても、3,379kwh、9.64%の増加となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	931,551	-6.41	-19.65	722,444	-3.03	2.63
営 業 用	191,943	1.40	17.10	122,241	1.04	3.56
工 業 用	803,908	10.78	27.45	111,466	-2.62	12.77
官 公 学 校 用	261,686	9.53	24.66	88,476	-0.49	22.15
そ の 他				126	-67.35	-50.00
合 計	2,189,088	1.85	1.15	1,044,753	-2.33	5.16

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で39,887m³、1.85%の増加、前月比でも25,053m³、1.15%の増加となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比および前月比とも家庭用のみ減少している。

一方、水道給水量は、前年同月比で25,031m³、2.33%と減少しているものの、前月比においては51,318m³、5.16%の増加となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では、営業用を除く用途で減少している。前月比では、その他を除く用途で増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	80,819	-6.15	-8.52	84,160	-6.53	-7.43
西 山	37,155	-9.49	-8.88	33,874	-10.05	-10.06
米 山	18,941	-9.80	-12.49	17,877	-7.69	-13.26
合 計	136,915	-7.59	-9.19	135,911	-7.58	-8.90

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の高速道路出入口での交通量は、入口が全体では前年同月比で11,258台、7.59%と減少している。前月比においても13,858台、9.19%と減少している。

出口においても、同様に、全体では前年同月比で11,157台、7.58%と減少しており、前月比においても13,282台、8.90%と減少している。

インター別の前年同月比および前月比を見ると、全ての入口・出口で減少している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	374,455	1.44	-0.75	143,830	-1.92	0.54
平 残	376,976	2.89	-0.57	142,745	-1.21	0.95

預金は、末残が前年同月比で5,319百万円、1.44%と増加となっているものの、前月比においては、2,854百万円、0.75%の減少となっている。平残では、前年同月比で10,607百万円、2.89%の増加しているが、前月比では、2,197百万円、0.57%の減少となっている。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で2,828百万円、1.92%と減少しているものの、前月比では782百万円、0.54%の増加となっている。平残においても同様に、前年同月比で1,757百万円、1.21%の減少しているものの、前月比では、1,353百万円、0.95%の増加となっている。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	27,801	30.93	34.23
交 換 金 額	21,416	52.70	48.56
不 渡 り 手 形 枚 数	1	-50.00	0.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	-100.00	0.00

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で6,569枚、30.93%の増加、前月比でも7,091枚、34.23%と増加している。また、交換金額においても前年同月比では7,391百万円、52.70%の増加、前月比でも7,000百万円、48.56%と増加している。なお、不渡手形は1枚、0.2百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は、2件（前年同月2件、前月3件）と横ばい、負債総額2.0億円（同4.3億円、同4.4億円）と減少している。地区別では下越地区で2件（新潟市2件）発生している。

業種別は、製造業・卸売業で各1件発生となっている。

倒産原因の状況については、販売不振で2件となっている。

県内経済は、緩やかな回復基調が続いているが、消費税増税前の駆け込み需要の反動が尾を引き弱い動きも見られる。今後の雇用・所得環境の改善が消費の下支え要因となるが、増税による実質購買力の低下から個人消費は横ばい圏内の動きと予想される。